

製品名: CARD9 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87193**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:62 kDa; Observed MW:62 kDa

抗原情報

遺伝子名	CARD9
別名	CANDF2; hCARD9
遺伝子 ID	64170
SwissProt ID	Q9H257
免疫原	ヒト CARD9 の合成ペプチド

背景

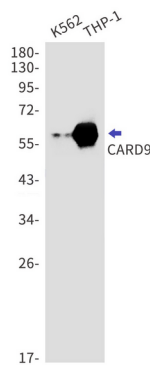
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、特徴的なカスパーゼ関連リクルートメントドメイン（CARD）の存在によって定義さ

れる CARD タンパク質ファミリーのメンバーです。CARD は、CARD を含むカスパーゼファミリーメンバーの活性化または抑制に関与することが知られているタンパク質相互作用ドメインであり、細胞アポトーシスにおいて重要な調節的役割を果たしています。このタンパク質は、アポトーシスおよび NF- κ B 活性化の正の調節因子である BCL10 の CARD ドメインとの選択的な結合によって同定され、NF- κ B を活性化する BCL10 シグナル伝達複合体の組み立てのための分子足場として機能すると考えられています。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションがいくつか観察されていますが、それらの全長の性質は明確に定義されていません。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



CARD9 抗体 (1:1000 希釈) を使用した K562、THP-1 細胞溶解物中の CARD9 のウエスタンブロット検出。